

平成20年度

四国地方整備局関係 補正予算概要



平成20年10月16日

国土交通省四国地方整備局

目 次

I. 概要	P. 1
-----------------	------

II. 主要施策

【防災対策】

○安全で安心、いきいきと暮らせる地域づくり . . .	P. 2
-----------------------------	------

(参考資料)

平成20年度 補正予算主要事業

1. 施策別の主要事業
2. 県別の主要事業
3. 予算総括表

I. 概要

平成20年度国土交通省関係補正予算については、平成20年の発生に係る台風、豪雨及び岩手・宮城内陸地震等による被害の早期復旧のための災害復旧費に加え、平成20年8月に「安心実現のための緊急総合政策」が取りまとめられたことを受け、緊急性や政策効果の高い施策に対応した一般公共事業費等が計上されています。

四国地方整備局関係の補正予算

防災対策に係る一般公共事業費として約114億円を計上

平成20年度補正予算事業費構成(四国地方整備局関係)

[単位:百万円]

	平成20年度 当初予算	平成20年度 補正予算	合計
治水	56,757	3,706	60,463
海岸	6,436	284	6,720
道路整備	139,087	4,914	144,001
港湾	13,746	1,045	14,791
空港	1,753	0	1,753
住宅対策	10,803	37	10,840
市街地整備	19,953	0	19,953
道路環境整備	38,053	1,403	39,456
都市水環境整備	1,630	0	1,630
下水道	31,977	0	31,977
都市公園	4,418	0	4,418
一般公共事業計	324,613	11,389	336,002
官庁営繕関係	785	0	785
合計	325,398	11,389	336,787
地域再生基盤強化交付金	7,328	0	7,328
総計	332,726	11,389	344,115

注:1) 利水者負担金は直轄には含まれ、補助には含まれていない。

2) 地域再生基盤強化交付金は内閣府所管から移替えられる予算である。

3) 四捨五入の関係により各県合計値と総括表の値が異なる場合がある。

Ⅱ．主要施策

安全で安心、いきいきと暮らせる地域づくり

東南海・南海地震対策等の推進

《目標》

- 東南海・南海地震に備え、各種構造物等の耐震化を進めるとともに、津波被害の軽減を図る防波堤等の整備を進めます。
- 災害に強く、信頼性の高い道路ネットワークの確保を図るため、「四国8の字ネットワーク」の整備等を推進します。

《現状と課題》

東南海・南海地震による津波は、高知県室戸市から土佐清水市にかけての一帯で最大10mを超える波高になると予想され、津波による交通網の予想分断箇所は高速道路未整備区間に集中することが予想されています。このため、地域の孤立を防ぎ、迅速な救急・救援活動等に資する「四国8の字ネットワーク」の整備や、広域救援部隊等が移動する緊急輸送路等各種防災施設の耐震化が喫緊の課題です。

また、現在、四国の国道・地方道における建設後50年以上経過した橋梁数は8%に過ぎませんが、20年後には45%と大幅に増加するなど、今後高齢化する社会資本ストックへの対応が喫緊の課題となっています。

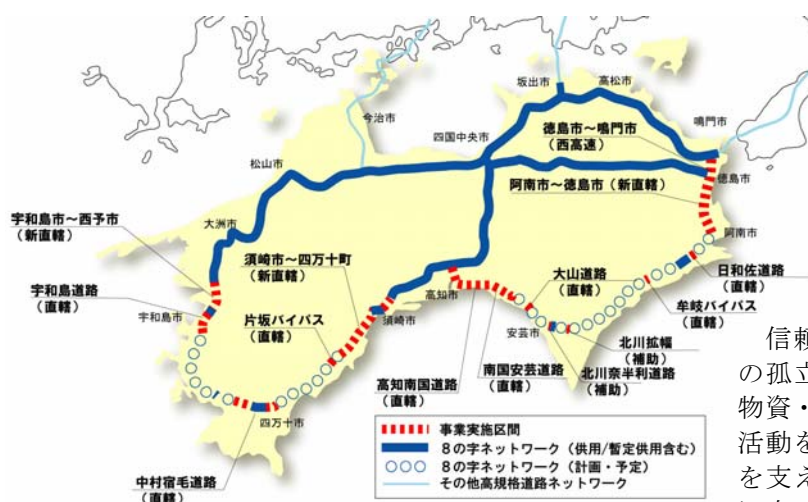
《具体的対策》

- ・ 防災・震災対策の推進
- ・ 道路構造物保全対策の推進
- ・ 港湾における地震・津波等の対策推進

防災・震災対策の推進

8の字ネットワークの形成状況

計画予定延長	810km
H20年度末(予定)	492km



四国横断自動車道(須崎新莊～窪川)【新直轄】

中土佐町道の川地区



信頼性の高い道路ネットワークの確保や地域の孤立を防ぎ、災害時における人命の救助や生活物資・資機材等の広域的な緊急輸送や避難・救護活動を支援するなど、「安心」と「活力」の両面を支える「四国8の字ネットワーク」の早期形成に向けて重点的な整備を推進します。

道路構造物保全対策の推進

定期的な点検により早期に損傷を発見し、大規模な修繕に至る前に対策を行う予防保全を実施し、橋梁等の長寿命化を推進します。

【橋梁補修】



【国道 55 号^{ならし}平等津橋】
(高知県)



主桁の塩害による
コンクリート剥離



電気防食による
対策事例

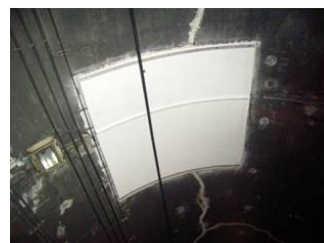
【トンネル補修】



【国道 56 号^{じょうへん}城辺トンネル】
(愛媛県)



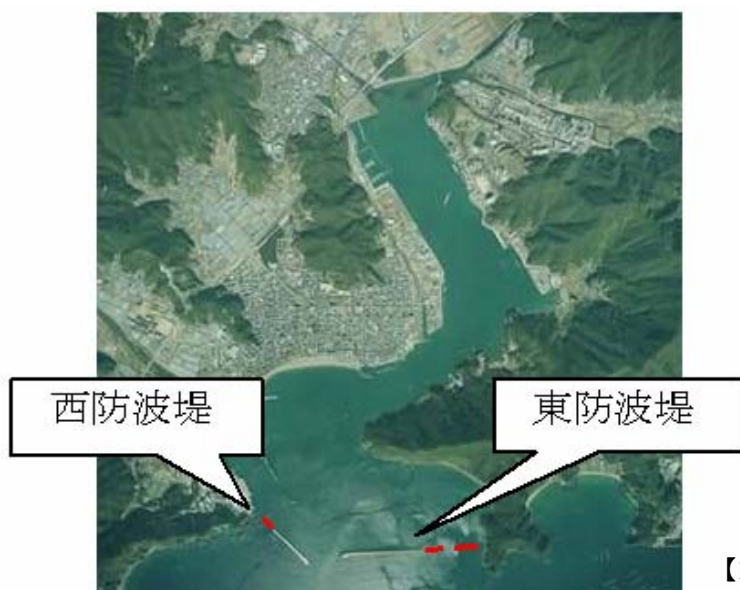
アーチ部の
コンクリートの浮き



炭素繊維シート接着
による対策事例

港湾における地震・津波等の対策推進

東南海・南海地震等の大規模地震に備え、津波による背後地の甚大な被害を軽減するため、津波防波堤整備を推進します。



【^{すさき}須崎港津波防波堤】

水問題対策の推進

《目標》

- 台風や局地的な集中豪雨等により、甚大な水害や土砂災害等が発生またはその危険性の高い地域等において、河川整備や砂防えん堤等の施設整備等を推進します。

《現状と課題》

近年、気候変動の影響等により、台風や局地的な集中豪雨が多発する傾向にあり、四国における最近10ヶ年の水害被害額は、全国平均の約4倍にも上ります。

《具体的対策》

- ・ 河川事業による洪水対策の推進
- ・ ダム事業による洪水、渇水対策の推進
- ・ 砂防事業、地すべり対策事業及び急傾斜地崩壊対策事業による土砂災害対策の推進
- ・ 海岸事業による海岸保全対策の推進

仁淀川/波介川床上浸水対策特別緊急事業の推進

波介川流域における浸水被害を軽減するため、仁淀川支川波介川の洪水を安全に仁淀川河口まで流下させる導水路を整備します。

